

学校管理下の柔道障害事故 全事例

【事故発生年度：1983年度～2009年度（27年分）】

最終更新日 2011年6月4日

作成者 内田 良（名古屋大学大学院教育発達科学研究所 准教授）
ウェブサイト「学校リスク研究所」 http://www.geocities.jp/rischool_blind/

以下の事例は、学校管理下における柔道の活動中に発生した「障害」の事故事例です。次の点に留意してください。

- ①事例は、(独)日本スポーツ振興センターがほぼ毎年発行している『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』から抽出したものです。
- ②ここでいう障害事例とは、負傷または疾病によって後遺症が存することとなった事例を指します。
- ③「事故発生年度」というのは、厳密にいうと、(独)日本スポーツ振興センターから「障害見舞金」が支払われた年度です。したがって、障害見舞金の支払いが年度をまたぐ場合(たとえば、事故発生は12月で、障害の確定にともなう支払いが翌年の5月の場合)には、「事故発生年度」は、実際に事故が発生した年度と一致しないことになります。
- ④「学年」は事故発生時点の学年です。
- ⑤いわゆる「事件」性の高い事例として解釈されている件についても、ここではすべて用語上「事故」としています。

事例 ID	『死亡・障害事例』年度 〔～年度版〕	事故発生年度	学年	性	体育授業／部活動	障害名	事故の概要	柔道固有の事故
1	昭和60 (1985)	昭和58 (1983)	高3	男	授業	歯牙障害 第14級	[転倒し床に歯を当てる]体育の授業中、柔道の前方回転受け身の練習として、生徒7人を飛び越えて受け身をする方法での練習が行われた。本生徒は飛び越えた後、着地に失敗し、顔面から落ちて床に前歯をぶつけ、3本の歯を破折した。	○
2			高1	男	部活	神経・精神障害 第1級	[畳に頭を打つ]本生徒は、顧問教師から受身の練習を命ぜられ、そんな姿勢から後ろ受身をしたとき、畳で頭を強く打った。その後練習を休んでいたが、30分程して意識不明になった。右硬膜下血腫と診断され血腫除去手術が行われたが、強度の四肢の運動障害を残した。	○
3			高2	男	部活	上肢障害 第6級	[ガラス戸に突っ込む]打ち込み練習で、相手を投げようとした際、入口の戸の窓ガラスに気付き止めようとしたが、本生徒の左足に相手の体重と本生徒の体重がすべてかかっていたため、どうすることもできず、左手首から、ガラス戸に突っ込んでしまった。左手の掌側前腕部を縦に20cm切り、橈骨、尺骨が露出する負傷となった。	○
4	昭和61 (1986)	昭和59 (1984)	高1	男	授業	腹部臓器障害 第8級	[寝技の際相手の足が腹部に当たる]柔道の実技で勝抜戦をしていた。試合中、本生徒は、相手をけさ固めで抑えたが、相手はそれをはずそうともがき、相手のかかどが本生徒の腹部に当たった。腹痛を感じたが、試合中でもあり、そのまま抑さえ込んで1本取って、試合終了となったが、その後激痛を訴えたため、直ちに病院へ移送し、検査の結果、脾臓破裂が確認され、摘出が行われた。	○
5			中2	男	部活	神経・精神障害 第5級	[体落しで投げられ頭部を打つ]夏休み中の計画に基づき、教師指導のもとに練習を行っていた。乱取りを行ったときに、本生徒は体落しで投げられ、後頭部を強打したと思われる。乱取り練習後、便所に行ったときに頭痛を訴え、その場にかがみ込んでしまった。そばにいた友達が床に休ませ、教師に連絡を取った。本生徒は激しい頭痛を訴え、口がしびれる症状がみえだしたので、病院へ移送した。頭部外傷、脳挫傷の診断で治療が行われたが、左上・下肢にわたる片麻痺、左上肢の痙性ジストニアの後遺症が残った。	○
6			中1	男	部活	歯牙障害 第14級	[バーベルを支えきれず倒れ口部を打つ]朝、クラブの部室整備のため、柔道部及び剣道部の1年生が柔剣道室の掃除を行っていた。このとき、道場にあるバーベルを上げてみようということになり、本生徒が約40kgのバーベルを持ち上げた。一度、額の上まで持ち上げたが、支えきれずに、バーベルを持ったまま後方に倒れてしまい、鼻の下から口唇、下顎をバーベルのシャフト部分で強打し、前歯2本が脱落した。	×
7			高1	男	部活	神経・精神障害 第7級	[大内刈りで投げられ後頭部を強打する]夏季合宿の日程に基づき、他校で合同練習中、乱取り稽古の際、本生徒は大内刈りを掛けられ仰向けに転倒、肩・背中と後頭部を強打した。負傷直後、呼びかけに対して自分の姓名を答えたが、1～2分後に意識不明となり、あくび、けいれんを始めたので、直ちに救急車で送院する。脳挫傷で右半身不全麻痺等の障害が残った。	○
8	昭和62 (1987)	昭和60 (1985)	中2	男	部活	上肢障害 第10級	[投げられて受身を取り損ねる]3年生と組んで柔道の乱取り練習中、練習の終わり頃相手の生徒が「裏投げ」の技を掛けてきた。相手は本生徒の後ろから脇の下に首を入れ手は帯をつかみ持ち上げそのまま後方に投げ、同時に相手も倒れ込んだ。しかし本生徒は体の両側に腕をひろげ体を支える受け身の体勢が取れず、左腕が立ったまま背中の中に残り、そこに自分自身の体重がかかり大きくひねったため、左上腕骨顆上骨折の負傷をした。1年以上の療養の結果、左肘関節伸展屈曲拘縮、左前腕回旋障害を残した。	○

9			高1	男	部活	視力障害 第8級	[組み手争い中指で目を突かれる]自由練習として乱取りをしているとき、組み手争いをしていて相手が襟を左手でつかもうとしたとき、襟を取り損ねて本生徒の左眼眼球を突いてしまった。受傷時、腫張・創はないように見受けられるが、眼球が充血しており、涙液が認められたので、冷水で湿布をし眼帯をして翌日眼科へ受診した。右球結膜下出血、角膜ヘルペス(再発)と診断され、その後角膜移植手術を受けたが、拒否反応が起きたので、眼球摘出し、義眼を装着するにいたった。	○
10			高3	男	部活	下肢障害 第7級	[膝関節痛を無理して練習の継続をし悪化]本生徒は、中学時代から有望選手として、入学当初から厳しい練習の連続で膝の痛みを訴えることが多かった。当日も授業終了後格技場において、膝の痛みを我慢して練習を行っていたが、乱取りをしている際両膝に急激な痛みを訴えた。しかし痛みを耐え練習を続行、2時間30分に及ぶ練習を終了したときには両膝部が腫れ痛みも増していたため冷湿布等の応急処置をして、翌日病院で受診した。両膝外傷性関節炎と診断され、「スポーツはやめるように」と言われたが、翌日より、痛みを耐えながら練習を続行した。1か月、練習中再度急激な痛みを生じ、異常なほどの腫れがあるため外科医院に受診、両膝関節炎と診断され練習を休むように言われるも、1年生大会が8月に行われることもあり痛みを耐えながら練習を続けた。8月に行われた1年生大会へ出場し、重量級で優勝するなど活躍、更にその後も厳しい練習を繰り返して9月8日には左足首を捻挫し、受診した際柔道をやめるように注意を受けた。しかし、練習を休むことが出来ないまま、翌年1月始め乱取り中に投げられて両膝を畳で強打、歩行出来ないほどの激痛があった。整形外科に受診したところ右半月板損傷のため手術しないと治らないと診断され、他の病院にも受診してみたが、同じ診断であった。手術することに迷いながら自宅で電気治療を行い様子を見ていたが、左膝が特に悪化し、昭和57年4月柔道部を退部し、手術をしないまま整形外科に通院治療をしていたが、昭和59年1月手術を決意し、2度の手術で両膝の半月板を摘出、左膝は常時装具を装着する状態になり、右膝は若干の伸展、展曲制限を伴う間接動揺の障害を残している。	×
11	昭和63 (1988)	昭和61 (1986)	中1	男	部活	障-神経3級	柔道部活動時、道場で乱取り中、低い背負い投げを掛けられ、バランスを崩して畳の上に頭から落下した。	○
12			中1	男	部活	障-神経3級	柔道部活動時、道場で乱取りをし互いに技を掛け合い別れた後、数メートル歩いて倒れた。なお原因は、乱取り中、頭を打ったものと思われる。	○
13			中3	男	部活	障-神経1級	柔道部活動時、道場で顧問の指導のもとに「谷落し」の申し合せを行い、受け側になって練習中、技を掛けられ、そのまま上を向いたまま後方に倒れ、後頭部を打った。	○
14			高1	男	部活	障-醜状11級	柔道部の活動として、対外合同練習を行い、他校道場において練習中、乱取りの際、大外刈りで投げられ、受身の体勢が不可能な状態となったため、後頭部から畳の上に突っ込むように倒れた。	○
15			高2	男	部活	障-神経1級	柔道部活動時、乱取り中、相手に払い腰を掛けたが防がれたため、バランスを崩し、倒れる際、壁に頭部をぶつけた。	○
16			中2	男	部活	障-視力14級	柔道部活動時、道場で試合中、腰を曲げたところ、相手に右払腰を掛けられたため、そのまま体をあずける形になって巻き込まれ、相手の膝に顔面が当たった。	○
17			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、道場で練習試合中、大内刈りを掛けたところ、相手の力が勝っていたため足を払われ、返されて倒れた。その際、相手も倒れ込み、膝頭が歯に当たった。	○
18			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、道場で乱取りの練習中、左襟を持たれ、左大外刈りを掛けられ倒されたとき、体を浴びせられ、相手の左肘が口部に当たった。	○
19			高3	男	授業	障-歯14級	体育の時間、体育館で柔道を行っていた際、背負い投げの練習中、技を掛けようとしたとき、相手の肘が歯に当たった。	○
20			高3	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、道場で技を掛け合っているとき、相手が掛けた巴投げの足が歯に当たった。	○
21			高1	男	授業	障-上肢12級	体育の時間、道場で柔道の乱取り練習中、大内刈りを掛けられ、後方に倒れ、受身が不十分なため肘関節を負傷した。	○
22			高2	男	部活	障-下肢14級	柔道部活動時、乱取りの練習中、練習相手となった顧問教師に背負い投げを掛け、膝を曲げふんばったところ、過重がかかり、膝関節を負傷した。	○
23			高2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、道場で練習中、投げられたとき、相手も体勢が崩れ、顔面上に倒れて歯に当たった。	○
24			高3	男	授業	障-上肢10級	体育の時間、道場で柔道の勝ち抜き戦を実施中、技の掛け合いとなり、相手に巴投げを掛けられて、左手を伸ばしたまま畳に落ち、肘関節を負傷した。	○
25			高3	男	授業	障-歯14級	体育の時間、体育館で柔道の練習中、乱取りをしていたとき、投げられて顔からマットに倒れ、歯を打った。	○
26	平成元 (1989)	昭和62 (1987)	中1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、試合形式の練習中、相手生徒に投げられた時、受け身が十分でなかったため顔面から畳の上に落ち、前歯を強打した。	○
27			中2	男	授業	障-上肢12級	体育時、柔道の練習中、相手に投げられた時、左肩から落ちて左肘関節脱臼、骨折をした。	○
28			中3	男	授業	障-中枢神経1級	柔道の授業中、前回り受け身を行っている時、本生徒は手をつこうとして、頭を畳に打ち付けた。頭痛を訴えたため保健室で安静にしていたが状態が悪化し、入院治療を受けた。	○
29			高1	男	部活	障-神経5級	柔道部合宿中、技「引き込み返し」の練習中、相手がしかけて後ろに倒れ本生徒はそのま前に回転するところを回り損ねて、左側頭部を畳に打ち付けた。	○

30			高1	男	部活	障-精神9級	柔道部夏期練習中、顧問教諭指導のもとに、投げ込みを実技中、相手より背負い投げを受け、頭部を打撲した。	○
31			高2	男	部活	障-頸髄9級	クラブ活動時、柔道の稽古で、受け身の練習中、相手の体重を支えきれなく頭から突っ込み、頸髄に強い衝撃が加わり負傷した。	○
32			高2	男	部活	障-歯13級	柔道のクラブ活動で乱れ取りの練習中、相手に背負い投げの技を掛けられ、それを返そうとしたさい、バランスを失い転倒した。相手の頭が口部に当たり負傷した。	○
33			高3	男	授業	障-歯14級	柔道(クラスマッチ)に出場して対戦中、受け身の状態で倒れ、口部を床にぶつけて負傷した。	○
34			中2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、相手が投げようとした時、相手の頭が本生徒の顎に当たり、前歯を負傷した。	○
35			中2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、乱れ取りの練習中、相手の大内刈りがうまくきまらず、共に巻きこまれるようにして崩れた。その時、相手の肘が口に当たり下前歯を負傷した。	○
36			中3	男	授業	障-歯14級	体育時、柔道の乱れ取りで相手を投げたさい、相手の道着を離さず転倒したため、相手の膝に顔面が当たり前歯を強打した。	○
37			高1	男	不明	障-歯14級	柔道の受け身の練習中、技を掛けた時、相手の膝が下顎に当たり、歯を負傷した。	○
38			高2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、基本練習のさい、技の掛け合いを行っているうち、本生徒との距離を誤り、前歯を強打した。	○
39			中2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、乱れ取り中、別の組の部員がバランスを崩し本生徒の方へ突っ込んできた。本生徒も大外刈りに出ようとしていて、出合いがしらの額に前歯をぶつけた。	○
40			高1	男	授業	障-歯14級	柔道の授業で立技の自由練習中、投げられた時にもう一組の相手の頭と自分の歯が当たった。	○
41			高2	男	その他 (体育大会)	障-下肢7級	体育大会で柔道の部に出場、技を掛けられ、強引に払いあげ巻きこもうとしたため、相手の体重がかかり、右足が外側へ「く」の字に曲がってしまった。	○
42	平成2 (1990)	昭和63 (1988)	中2	男	授業	障-上肢12級	体育の授業時、柔道で投げ技の練習中、相手生徒に背負い投げで投げられたとき、受け身を失敗して畳で左腕を強打した。	○
43			中3	男	部活	障-精神3級	柔道部活動時、柔道場で昇段試験準備のため「形」の練習中、相手の投げに対する受けの練習から、捨て身技の練習へ移ったさい、頭が痛いと言って寝転び、苦しみだした(脳挫傷)。	○
44			中3	男	部活	障-精神9級	柔道部活動時、乱取りの練習のさい、払い腰を掛けられた瞬間に頭部から落ちて後頭部を強打した。その後1〜2分たち頭痛を訴え、また、その数分後に前進けいれんを起こし意識を失った。	○
45			高1	男	部活	障-精神3級	柔道部活動時、合宿2日目の道場での立ち技乱取りの練習中、大内刈りで投げられたさいに畳で後頭部を強打した。	○
46			高1	男	部活	障-上肢12級	柔道部活動時、道場での乱取り練習中に体落して投げられたさいに、空中で体をひねったために左肩より畳に激突した。	○
47			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、屋内運動場で乱取りの練習中、背負い投げで投げられたさい顔面を畳に強打した。	○
48			高2	男	授業	障-上肢12級	体育の授業時、体育館で柔道の試合をしていたさい、大外刈りを掛けられて倒れたときに畳で右肘を強打した。	○
49			中2	男	授業	障-歯14級	体育の授業時、柔道で相手に技を掛けたとき、相手の膝が本人の口部に強打した。	○
50			高2	男	授業	障-歯14級	体育の授業時、柔道場で乱取りの練習中、背負い投げを掛けたが、相手に柔道着をつかまれたまま一緒に倒れ、そのさい相手の右膝が顔面に当たった。	○
51			高2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、柔道場で立ち技の練習中に大内刈りで投げたさい、相手の左膝で、口唇部を強打した。	○
52			高2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、体育館で背負い投げの練習をしていたさい、投げが崩れて転倒したとき、相手生徒の前額部に前歯が当たった。	○
53	平成3 (1991)	平成元 (1989)	中2	男	部活	障-下肢13級	柔道部活動時、組み合い、投げて転倒した部員の上に倒れたため、左大腿部に激痛を覚えた。	○
54			中2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、相手の内股がうまく決まらずともにも重なるように倒れ、相手の頭で顔面を強打した。	○
55			中2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動の乱取り練習中、足技を掛けられバランスを崩して相手にもたれるような状態で2人とも転倒し、口唇部に相手の膝が強く当たった。	○
56			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、乱取り練習のさい、相手に背負い投げを掛けられて転倒したとき、相手の膝頭に顔面を強打した。	○
57			高2	男	授業	障-上肢12級	体育授業時、柔道での乱取り練習中、大外刈りで投げられたさいにひねり倒されたようになり、思わず左逆手を着いたため骨折した。	○
58			高2	男	部活	障-神経5級	柔道部活動時、乱取りのさいに一本背負いを掛けたところ、返し技で投げられて頭部を打撲した。	○
59			中1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動で寝技の乱取り中、押さえ込もうとしたとき、相手の肘が勢いよく前歯部に当たった。	○
60			中1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、寝技に近い取り組みの最中にもつれ、相手の膝が前歯に当たり負傷した。	○
61			中3	男	部活	障-視力14級	柔道部活動の寝技の練習中、相手の肘が左眼近くに強く当たった。	○

62			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、寝技の練習中、相手の頭が口に当たり入れ歯が折れた。	○
63			高2	男	授業	障-歯13級	体育授業時、柔道の練習中、背中合わせに2人組みで長座し、合図で寝技を掛け合うために振り向いたさいに、相手の左手が顔面を強打した。	○
64	平成4 (1992)	平成2 (1990)	中2	男	その他 (柔道大会)	障-上肢10級	柔道大会で試合中、相手選手がおおいかぶさってきて、おさえこまれたとき、左腕を畳に強打し骨折した。	○
65			高1	男	部活	障-神経1級	柔道部活動時、練習試合中、背負い投げを掛けしたが、体勢が前方に流れ相手を背負ったまま、頭から畳に崩れ落ちた。	○
66			高1	女	部活	障-神経7級	柔道部活動時、乱取りの練習中、大外刈りであお向けに倒れ起き上がりかけたところへ、転がって来た他の組みの男子部員の脇腹が頭部に接触し、頸椎を損傷した。	○
67			高2	男	部活	障-神経1級	柔道部活動時、公式戦のさい、右内股を掛けしたところ技が浅く、相手の体重がかかり、頭を巻き込む状態になって、左後頭部から畳に倒れた。	○
68			高2	男	部活	障-歯13級	柔道部活動時、乱取り練習中、内股を掛けしたが外され、相手の出した足が、顔面口部に当たった。	○
69			高2	男	授業	障-歯14級	体育の授業時、柔道試合中に相手の足技を無理な体勢でかわそうとして相手と一緒に倒れ込んださい、相手の右脚に顔面を強打した。	○
70			高3	男	部活	障-上肢12級	柔道部活動時、試合中、左の背負い投げを掛けられ、左方向に巻き込まれるように倒れるとき左手をついたので、左肘がねじれるような形になって左肘を負傷した。	○
71			高3	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、乱取り練習中、背負い投げを掛けられて倒れたとき、相手の肘が顔面に当たった。	○
72	平成5 (1993)	平成3 (1991)	中3	男	部活	胸腹部臓器障害	柔道部活動時、寝技の練習中、相手が股間へ膝を突っ込んできた際、膝と畳との間で睾丸をつぶした。	○
73			中3	男	部活	胸腹部臓器障害	柔道部活動時、押さえ込み練習中、相手の肘が陰部に当たった。	○
74			中3	男	授業	上肢切断・機能障害	体育の授業時、柔道の試合中、相手に投げられ受け身をすところ、無理な体勢で手をついたため左上腕骨外顆剝離骨折の負傷をした。	○
75			中3	男	部活	視力・眼球運動障害	柔道部活動時、固め技の練習中、相手の左脛が右眼を直撃した。	○
76			中3	男	部活	歯牙障害	柔道部活動で試合中、相手に払い腰を掛けられて投げられ、その上に相手が倒れ、顔面に相手の背中がぶつかった。	○
77			高1	男	部活	神経・精神障害	柔道部の合同練習会で試合を継続的に行った後、ふらつき倒れた。試合中に頭部を強く打ったものと思われるがだれも目撃した者はいない。	○
78			高1	男	授業	上肢切断・機能障害	体育の授業時、柔道の練習中、相手にともえ投げを掛けられた際、頭部から落下する危険を感じて左腕を畳についたところ、体重が掛かって骨折した。	○
79			高1	男	部活	歯牙障害	柔道部活動時、寝技の練習中、相手の肘が顔面を強打した。	○
80			高2	男	部活	神経・精神障害	柔道部合宿中、午前の練習を終えた直後に昏倒して意識不明となった。	○
81			高3	男	授業	上肢切断・機能障害	体育の授業時、柔道の練習中、相手に投げられた際、左肘を強打した。	○
82			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動時、乱取り練習中、相手を引きつけた際、顔面に相手の顔が当たり前歯を折った。	○
83			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動時、武道館で公式練習中、相手が払い腰を掛けてきたところを後ろ腰で返した際、相手の肘が下方面から口蓋部に当たった。	○
84			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動時、練習中、背負い投げで投げられた際、受け身に入る体勢が悪く、バランスを崩して前のめりに落ち、顎から顔面にかけて畳で強打した。	○
85			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動時、試合中、相手の頭が口部に当たった。	○
86			高3	男	部活	上肢切断・機能障害	柔道部活動時、試合中、背負い投げをされた際、巻き込まれないように畳について体を支えていた左手の上に相手の腰が乗ってきた。	○
87			高3	男	部活	歯牙障害	柔道部活動時、試合中、相手の頬が前歯に当たった。	○
88			高3	男	授業	視力・眼球運動障害	体育の授業時、柔道のテストで試合中、体落として投げられたところへ、バランスを崩した相手が乗っかり、顔面を負傷した。	○
89	平成6 (1994)	平成4 (1992)	中1	男	部活	神経・精神障害	体育館で柔道部活動時、乱取り中、相手に技を掛けられ、相手と重なって勢よく背中から転んだ。	○
90			中2	男	授業	醜状障害	体育の授業時、格技室で柔道で人を飛び越してから受身をする練習中、左腕に体重が掛かり過ぎて左肘を骨折した。	○
91			高1	男	部活	神経・精神障害	柔道部活動時、柔道場で試合中、引込み返しの中の脇落しの技を掛けられ、尻もちを着いてから頭を打った。2~3分後控席で見学中、急に右側に倒れた。	○
92			高1	男	部活	神経・精神障害	柔道部活動時、格技室で乱取り練習中、大外刈りを掛けられた際、受身を失敗し後ろ向きに倒れ後頭部を強打した。	○

93			高2	男	部活	下肢切断・機能障害	柔道部活動時、講堂で寝技の練習中、三角絞めを逃がれようと立ち上がりかけたが、うまく立てず、右膝が中側に入ったまま倒れた。	○
94			高2	男	その他 (校内競技大会)	上肢切断・機能障害	校内競技大会時、格技場で柔道の選手として試合中、相手に投げられて肘から落ちた。	○
95			高2	男	部活	神経・精神障害	柔道部活動時、格技場で練習中に投げられた際、腰を打った。	○
96			高2	男	授業	歯牙障害	屋内運動場でクラスマッチの柔道試合中、相手を投げようとしてバランスを崩し、顔から転倒して前歯を打った。	○
97			高2	男	授業	歯牙障害	体育の授業時、柔道場で柔道の乱取中、相手の肘が前歯に当たった。	○
98			高3	男	部活	胸腹部臓器障害	柔道部活動時、格技場で乱取中、相手に体を預けられ、相手と重なって倒れて左腹部を強打した。	○
99			高3	男	授業	歯牙障害	体育の授業時、武道場で柔道の試合中、背負い投げをしたところ失敗して相手の上に倒れ込み、相手の膝で顔面を打った。	○
100	平成7 (1995)	平成5 (1993)	中1	男	部活	障-神経7級	柔道部活動時、乱取りけいこの途中、頭部を強打し意識を失い倒れた。	○
101			中1	男	授業	障-神経14級	体育の授業時、柔道の寝技の練習中、中腰の体勢から肘から倒れた際、その上から相手がおおいかぶさるように倒れた。	○
102			中2	男	部活	障-醜状14級	柔道部活動時、技の掛け合いの練習のとき、大外刈りを掛けられ後に倒れた際、自分の左腕の上に体を乗せてしまい負傷した。	○
103			高1	男	部活	障-腹部11級	柔道部活動時、格技室で乱取りの練習中、相手の掛けた内またを腰を引きぎみにして受けたため、相手の足が本生徒の右鞞丸に当たった。	○
104			高1	男	部活	障-腹部11級	柔道部活動時、柔道場で乱取り練習中、相手に大内刈りを掛けて強引に押し倒したところ、相手の膝に鞞丸が激しくぶつかった。	○
105			高1	男	授業	障-神経12級	体育の授業時、体育館で柔道の釣り込み腰の練習中、投げられて首を負傷した。	○
106			高1	男	部活	障-視力14級	柔道部活動時、柔道場で乱取り練習中、相手に釣り込み腰で巻き込むように投げられた際、相手が顔の上に乗っかり、そのわき腹で眼球部を強く打った。	○
107			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、武道場で練習中、相手に巴投げを掛けられた際、相手の膝が前歯に当たった。	○
108			高2	男	その他 (校内柔道大会)	障-神経1級	校内柔道大会時、格技場で試合中、相手に右払い腰を掛けた際、頭から畳に突っ込んで頸椎を負傷した。	○
109			高2	男	部活	障-下肢9級	柔道部活動時、公立の武道場で試合中、相手を持ち上げ体落としを掛けたところ、体のバランスを崩し、相手が右足に乗るようにして倒れた。両足を広げていた本生徒は相手の重みで股裂き状態となって右足をひねった。	○
110			高2	男	部活	障-歯13級	柔道部活動時、格技場で自由練習中、相手の頭部が本生徒の前歯に当たった。	○
111			高2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、武道館で乱取り練習中、相手に裏投げをされた際、自分の膝で口唇部を強打した。	○
112			高3	男	部活	障-神経2級	柔道部活動時、他校の武道場で公式戦中、相手に内股を掛け、バランスを崩して頭から畳に倒れた際、首に両者の体重が掛かった。	○
113			高3	男	授業	障-歯14級	体育の授業時、武道場で柔道の背負い投げの練習中、技を掛けてきた相手が腰だけの状態になって前方へ倒れ込んだ際、一緒に重なるように倒れ、相手の後頭部で前歯を打った。	○
114			高3	男	授業	障-歯14級	体育の授業時、柔道場で試合形式で練習中、乱取りの投げ技を掛けた際、相手の頭に前歯が当たった。	○
115	平成8 (1996)	平成6 (1994)	中1	男	部活	障-神経3級	柔道部活動時、町立武道館で小外刈の技の練習中、相手に技をかけられて倒れた際、受け身がうまくとれず、頭から落ち右側頭部を強打した。	○
116			中1	男	部活	障-神経7級	柔道部活動時、武道場で準備運動(20分間)、乱取練習(60分間)、投げ込み・受け身の練習(30分間)などを行い一時休憩した。その際、ボーッととなりうつろな状態で倒れた。入院時、左急性硬膜下血腫、脳挫傷、上部消化管出血と診断された。	○
117			中1	女	部活	障-神経1級	柔道部活動時、町立体育館武道場で練習中、乱取りで相手の技により倒れ頭を打った。	○
118			中盲2	男	授業	障-視力2級	体育授業時、体育館で柔道の受け身の練習中、端の方で一人で受け身の練習をして、畳の木枠で後頭部を打った。	○
119			中2	男	部活	障-上肢12級	柔道部活動時、武道館で試合中、相手が足払いをかけ、覆いかぶさってきたとき左手をついて倒れた。その際、左上腕部を骨折した。	○
120			中2	男	その他 (新人体育大会)	障-醜状14級	市体育館で行われた地区の新人体育大会(健康安全・体育的行事)の柔道の試合で、相手に技をかけられ、床に左手をついたが、つき方が悪く橈骨、尺骨を骨折した。	○

121			高2	男	授業	障-神経1級	体育授業時、屋内運動場で柔道の体重別の試合中、内股をかけたが体勢が不十分で崩れたところへ相手に覆いかぶされ、頸髄を損傷した。	○
122			高2	男	授業	障-神経3級	体育授業時、柔道場で柔道の練習中、背負い投げをかけた際、足を滑らせもつれた状態で2人が倒れ、頸部を強打した。	○
123			高2	男	部活	障-脊柱11級	柔道部合宿時、他校で練習試合中、相手を腰に乗せ技をかける際失敗し、崩れ、2人分の体重が頸椎にかかった。	○
124			高2	男	授業	障-下肢12級	体育授業時、柔道場で柔道の練習中、背負い投げをかけたところ、相手の体重を支えきれずに崩れ落ちた。	○
125			高2	男	部活	障-視力14級	柔道部活動時、柔道場で寝技の乱取り練習中、相手の踵が本生徒の左眼を強打した。	○
126			高2	男	授業	障-歯14級	体育授業時、格技場で柔道の試合中、相手と倒れ込んだ際、相手の頬に顎をぶつけた。	○
127			高3	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、道場で練習中、乱取りで相手の頭部が顔面に当たり、前歯を損傷した。	○
128	平成9 (1997)	平成7 (1995)	中1	男	部活	障-上肢12級	柔道部活動時、格技場で練習試合中、投げられて横倒し、左腕を床に強く打ちつけた。	○
129			中1	男	部活	障-神経14級	柔道部活動時、格技室で練習中、乱取りで相手の後ろに回り倒そうとしたが、手が離れ相手とともに後ろに倒れ、相手の臀部が右顔に乗り負傷した。	○
130			中2	男	部活	障-神経3級	柔道部活動時、柔道室で練習中、相手の払い腰が崩れ本生徒が下になって倒れ、側頭部を強打した。	○
131			中2	男	部活	障-腹部8級	柔道部活動時、学校外の体育館で合同練習中、背負い投げをされ、受身をするとき自分の左肘で胸を打ち、相手が押さえ込みに入って、胸を強く圧迫した。	○
132			中2	女	部活	障-醜状12級	柔道部活動時、格技場で練習を見ていた際、乱取り練習中の男子部員が投げられ、本生徒の右後ろから右膝に投げられた部員の大腿部が当たり、内側に曲がる負傷をした。	○
133			中3	男	授業	障-上肢12級	体育授業時、柔道場で柔道の約束練習のとき、受け身が不十分であったため、左肘を強打した。	○
134			中3	男	授業	障-歯14級	体育授業時、柔道場で柔道の練習中、相手を投げようとしてバランスを崩し、相手の上に倒れ込み、膝で顔面を強打した。	○
135			高1	女	部活	障-神経5級	柔道部活動時、体育館で乱取りの練習をしていた際、体調不良のために4本目まで、3回ほど受け身をせず頭を打っていた。その後、大外刈りで投げられて仰向けになった。両手、両膝をつけて立ち上がろうとしたとき、けいれんを起こして意識を失った。	○
136			高2	男	授業	障-腹部8級	体育授業時、柔道場で柔道の練習中、2人で組んで押されているうちに、右腰より重ね合うようにして倒れ、相手の右膝が右腹に当たった。	○
137			高2	男	部活	障-下肢12級	柔道部活動時、学校外の体育館での研修会中、立ち技の練習をしていたとき、相手に払い腰を掛けられた際、からだをねじりこらえた。そのとき、右膝の内側に痛みを感じ堪えられずに投げられた。	○
138			高3	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、格技場で技を掛けようとしたとき、相手が内刈りを掛けてきたため、相手の頭が口部に当たった。	○
139	平成10 (1998)	平成8 (1996)	中2	男	授業	障-下肢12級	体育授業時、武道場で教師と立ち技の練習中、教師が技をかけて本生徒が受け身で倒れる際、教師の足と生徒の足が絡まり、足の側面から畳に倒れ右足首を骨折した。	○
140			中2	男	部活	障-上肢12級	柔道部活動時、格技場で押し込み練習中、相手を四方固めにしたが、互いにこれを解こうとしてバランスを崩し、2人ともつんのめる形になり、左腕が相手の両足にはさまれ左肘関節内骨折の負傷をした。	○
141			中2	男	授業	障-醜状14級	体育授業時、武道館で実技練習中、相手の背負い投げに対して受け身が不十分だったため後頭部より畳に落ち、第2頸椎軸椎歯突起を骨折し手術痕が残った。	○
142			中3	男	授業	障-手指12級	体育授業時、格技場で試合形式で練習中、相手をうら投げで投げた際、相手の柔道着に右手が掛かったまま、相手の体と畳に挟まれ右手くすり指を骨折した。	○
143			中3	男	授業	障-視力14級	体育授業時、柔道場で練習中、二人組になって技を掛け合っていた際、本人が仰向けに押さえ込まれていて、寝ていた状態の時に別の組の生徒が冗談半分でけてきて、その足のかかかところが右眼に当たった。	×
144			中3	男	授業	障-歯14級	体育授業時、体育館で固め技の練習中、相手に押さえ込まれ逃げようとした際、外すまいと必死に押さえ込もうとした相手の左肘が前歯に当たった。	○
145			高1	男	部活	障-精神・神経5級	柔道部活動時、柔道場で立ち技乱取り中、相手の大外刈りが決まり腰から転倒し、そのまま後頭部を打った。	○
146			高1	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、体育館で、相手に背負い投げをかけられ強く引きつけられたため、相手の後頭部に顔面がぶつかり前歯を打ちつけた。	○
147			高1	男	授業	障-歯14級	体育授業時、体育館で練習試合中、返し技を試みた際、相手が顔面に上から覆いかぶさる状態になり前歯を負傷した。	○
148			高1	男	部活	障-精神・神経14級	入部2日目の柔道部活動時、格技場で、約30回の受け身の練習を行い、頭部からの落下等のため体全体に痛みを覚えた。頭部外傷後遺症、頸肩腕症候群と診断された。	○
149			高1	女	部活	障-視力14級	柔道部活動時、格技場で乱取り中、相手に払い腰をかけられ、腰が左眼に当たった。	○

150			高2	男	部活	障-精神・神経1級	柔道部活動時、練習前にふざけていて他の生徒に投げられ(バックドロップの状態)、首の付近から畳に落ち、頸椎を脱臼した。	○
151			高2	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、学校外体育館で試合中、相手を投げた際、その勢いで相手の足が顔面に当たり前歯を破折した。	○
152			高2	男	その他 (学校行事)	障-歯14級	県高等学校総合体育大会(学校行事)に、柔道の選手として出場。試合前に他の選手と打ち込みをしていたところ、相手の肘が本生徒の前歯に当たり破折した。	○
153			高3	男	部活	障-精神・神経1級	柔道部活動時、学校外体育館で県高等学校柔道大会の個人戦に出場中、1、2、3回戦と勝ち進み4回戦目、相手選手に左内股をかけたが十分な効果がなかったため続けて技をかけた際、体を前方に低く曲げ頭から畳に突っ込み頭頂部を強打した。	○
154			高3	男	その他 (学校行事)	障-精神・神経1級	クラスマッチ(学校行事)の柔道の試合中、右四つに組み合っていた相手が左の内股をかけた際、相手の右引き手が不十分なことで、本生徒が腰を引いたため内股がきれいに決まらず、頭部からねじるように落ち頸髄を損傷した。	○
155			高3	男	部活	障-精神・神経7級	柔道部活動時、柔道場で、乱取りげい古、寝技、整理運動を終え、座って他の部員のさらし巻きを手伝っているときに「頭が痛い」と2～3度言いながら倒れ、そのまま意識不明になった。	不明
156			高3	男	授業	障-胸腹部臓器11級	体育授業時、柔道場で試合中、本人が寝技をかけた後、相手に外され反対に寝技をかけられた際、相手のかかたが股下に当たった。	○
157			高3	男	授業	障-上肢12級	体育授業時、体育館で試合中、寝技をかけられて押さえ込まれたため、跳ね返そうと両腕を外側について力を入れた際、右肘に力がかかって肘関節を脱臼した。	○
158			高3	男	部活	障-歯14級	柔道部活動時、学校外体育館で乱取り練習中、相手と組み合って倒れ込んだ際、相手の膝が勢いよく前歯に当たった。	○
159			高定4	男	部活	障-上肢12級	柔道部活動時、柔道場で練習中、乱取りで倒れた際、左肘を骨折した。	○
160	平成11 (1999)	平成9 (1997)	中2	男	授業	障-精神・神経9級	授業授業時、屋内運動場で柔道のテストのために試合中、投げられた際に受身に失敗し後頭部を強打した。その後担任が異常に気付く保健室に入室したところショック症状が起こり、2、3か月に1回程度の発作が起こるようになった。	○
161			中2	男	部活	歯14級	柔道部活動時、柔道場で練習中、本生徒が相手に投げられたところへ、他の投げられた生徒の左足の踵が顔面に当たり歯を負傷した。	○
162			中2	女	部活	障-醜状14級	柔道部活動時、乱取り中、相手の右払い腰を受けたところ、体がうまく回りきれず右肩から畳に落下し、右鎖骨を負傷した。	○
163			中3	男	授業	障-下肢12級	体育授業時、特別活動室で柔道の練習中、相手に投げられた際に受身に失敗し、左膝から落下し、左膝を負傷した。	○
164			高1	男	部活	障-精神・神経1級	柔道部活動時、屋内運動場で活動準備時間中、遅れてきた本生徒に他の生徒がプロレスの技をかけたところ、誤って本生徒は頭から落下し首から下が麻痺状態となった。	○
165			高1	女	部活	障-神経・神経5級	柔道部活動時、柔剣道場で乱取りのけい古中、本生徒が相手に投げられ道場のすみで泣いていたので顧問教諭が事情を聞いても泣くばかりであった。それから5分程して他の教諭から本生徒が廊下でいびきをかいて寝ていると知らせを受け、駆け付けてみるといびきをかいて寝ており、呼び掛けても反応もなく吐いているようだったので救急車を呼び病院へ移送した。外傷による右大脳半球萎縮等の負傷をしており、障害が残った。	○
166			高2	男	部活	障-精神・神経1級	柔道部活動時、学校外体育館で他校との練習試合中、相手に投げられた際に逃げようとして首を横に向けたところ、相手の体が本生徒の頭部に乗ったため頸髄損傷等の負傷をした。	○
167			高1	男	授業	障-精神・神経6級	体育授業時、屋内運動場で柔道の試合中、相手に背後から技を掛けられたため、受身がとれず技が決まらないように踏ん張ったところ、右後方に投げられて首から落下し、第6頸椎を圧迫骨折し、左半身に特に麻痺状態が残る等障害が残った。	○
168			高2	男	授業	障-脊柱8級	体育授業時、屋内運動場で柔道の試合形式の練習中、相手に投げられ頭部を畳で強打した。その後も続けて授業を受けて翌日も通常通り登校し授業を受けていたが、友人等に首が曲がっている、歩いている姿が変だなどと指摘されたので保健室へ行き外科医への受診を勧められた。外科医へ受診したところ、頸椎の手術を受けたが運動域の制限の障害が残った。	○
169			高2	男	授業	障-上肢12級	体育授業時、屋内運動場で柔道の試合中、相手の引き込み返しに対して本生徒は左手を付きながら回転していったところ、左肘を捻ってしまい負傷した。	○
170			高2	男	その他 (校内柔道大会)	障-上肢12級	校内柔道大会時、柔道場で試合中、相手に投げられた際に受身に失敗して左肘を強く打ち負傷した。	○
171			高2	男	授業	障-歯14級	体育授業時、武道場で柔道の試合中、相手が右体落としを仕掛けてきたところ、相手の肘が本生徒の口唇部に当たり歯を負傷した。	○
172			高2	男	授業	障-精神・神経14級	体育授業時、柔道場で乱取り中、相手の大外刈りに対して右足で踏ん張ったところ、その瞬間かすかに音がした。担当教諭はすぐに休ませたが、右足に常時痛みがあるようになった。	○

173			高2	男	授業	障-歯 14級	体育授業時、格技場で柔道の大小内刈りの練習中、本生徒が投げられて倒れたところ、隣で投げられた生徒の足の踵が本生徒の歯に当たり負傷した。	○
174	平成12 (2000)	平成10 (1998)	中2	男	部活	下肢 11級	柔道部活動時、校外体育館で試合中、背負い投げを掛けた際失敗し、両膝をついたところ、相手の生徒が覆いかぶさり、左側を下にして倒れ負傷した。	○
175			中2	男	部活	胸腹部臓器 11級	柔道部活動時、武道場で乱取りの練習をしていた。相手の生徒と組み、内股を掛けられた際に、相手の生徒の足が本生徒の股間に入ったまま倒れ、負傷した。	○
176			中3	女	部活	醜状 14級	柔道部活動時、格技場で乱取りの練習中、足技を掛けられ、右膝をひねるかたちで倒され骨折した。	○
177			高1	男	部活	精神・神経 1級	柔道部活動時、校外武道館で試合をしていた。相手の生徒に技を掛けられ、倒され、顎を引いたかたちで後頭部から落下した。その際、頸部に大きな負担がかかり、頸椎損傷と、神経系統の機能障害が残った。	○
178			高1	男	部活	視力 13級	柔道部活動時、練習終了後、体育館で個人的に他の生徒と組みの練習をしていた。足払いの練習をしていたところ、突然、右方向で練習をしていた他の生徒の手が右眼球を直撃した。	○
179			高1	男	部活	精神・神経 1級	柔道部活動時、柔道場で乱取りの練習中、本生徒が技を掛けた際、相手の生徒に技を返され、後頭部を強打し負傷した。中枢神経系統の障害が残った。	○
180			高2	男	部活	歯 14級	柔道部活動時、柔道場で練習中、相手の生徒に投げられた際、相手の生徒の左膝が本生徒の顔面に強打し、歯を負傷した。	○
181			高2	男	部活	下肢 7級	柔道部活動時、柔道場で練習中、技を掛けられ倒れた際に、右膝下腿部に無理な力がかかり負傷した。右足関節及び足指に機能障害が残った。	○
182			高2	男	授業	歯 14級	体育授業時、柔道場で乱取りをしていた。押さえ込みの乱取りをしていた際に、相手の生徒の頭部と本生徒の下顎部がぶつかり、歯を負傷した。	○
183			高2	男	授業	歯 14級	体育授業時、柔道場で試合をしていた。相手を投げようとしたが、投げきれず倒れ込んだ際に、相手生徒の膝が本生徒の口唇部を強打し負傷した。	○
184			高3	男	その他 (県大会) →部活扱い	上肢 12級	柔道の県大会で試合中、技を掛けられ右手をついて支えたが、押さえ込まれて動けなくなった。その際、右肘を負傷し、運動障害、醜状が残った。	○
185			高3	男	部活	視力 8級	柔道部活動時、校外体育館で地区大会に出場し、試合で襟を取られまいとしてもみ合った際、本生徒の右眼部に相手の肘が当たった。その後も試合が続き、右眼だけが痛いという状態ではなかったため、そのままにしていたが、数日後、右眼に違和感が生じ、痛みやすっきりしない視界を感じたので、病院で受診したところ、外傷性巨大裂孔網膜剥離を生じていた。	○
186	平成13 (2001)	平成11・12 (1999・2000)	中2	男	授業	歯牙障害 第14級	体育の授業中、柔道の乱取りをしていた際、相手の生徒の足が顔面に当たり、前歯と上嘴唇を負傷した。受診後、治療が続けたが障害が残った。	○
187			高1	男	授業	歯牙障害 第14級	体育の授業中、柔道の乱取りを行っていた際、相手生徒の肘が本生徒の前上歯部に当たり、前上歯2本を破折した。	○
188			中2	男	部活	神経系統の機能障害 第3級	柔道部の練習中、本生徒が、相手から技をかけられて受身をする練習を行っていた。6本中6本目あたりで、組んでいる途中に「ちょっと待って」と言って膝をついた。息が荒く気分が悪そうだったので、横にさせて様子を見た。次第に意識が無くなり、呼びかけても反応が無いので、救急車で病院に搬送された。	不明
189			高3	男	部活	神経系統の機能障害 第2級	柔道部の活動終了後、本生徒が遅れて練習に加わった生徒の相手として、用意されたマットで投げの練習をしていたところ、マットの外へ落ち首を痛めた。	○
190	平成14 (2002)	平成13 (2001)	中3	男	授業	12級 上肢機能	保健体育授業時、屋内運動場で柔道の試合をしていた。相手に払い腰の技を掛けられて、左肘を自分の体に巻き込むように転倒し、負傷した。	○
191			中1	男	部活	12級 上肢醜状	柔道部活動中、体育館で準備体操、補強練習後、他校との練習に入った。乱取り中、腰技を掛けられ、一本を取られなくなつたため、左手を畳についたところ、投げの姿勢が強く、ついた左手に体重が掛かり骨折した。	○
192			中2	男	部活	10級 神経(脳せき髄)	柔道部活動中、武道場で立ち技の練習を行っていた。相手から背負い投げを受け、畳に頭をつき首を捻挫した。	○
193			中3	男	部活	14級 上肢醜状	柔道部活動中、体育館で試合を行っていた。相手が袖つり込みの技を掛けようとしたため、本生徒は左手をついた。その際、自分の体重が左肘にかかり、負傷した。	○
194			高1	男	部活	1級 神経(脳せき髄)	柔道部活動の寒稽古終了後の休憩時間中、柔道場で友人に乱取りを申し込んだ。乱取り中に友人から大外返して投げられた際、畳で頭部を打った。壁際まで自力で歩いて行ったあと、意識不明となった。	○
195			高1	男	部活	1級 神経(脳せき髄)	柔道部活動中、武道館で練習試合を行い、大外刈りを掛けられ、頭部を強打し、左片麻痺となった。	○
196			高1	男	部活	1級 神経	柔道部活動中、格技場で顧問教諭指導の下、立ち技の自由練習を行っていた際、相手の大内刈りで仰向けに倒れ畳に後頭部を強打し、意識を失った。	○

197			高2	男	部活	14級 歯牙	柔道部活動中、柔道場で乱取りをしていた。相手が技を掛けてきたため、かわそうとしたときに、相手の頭が顔面に当たり、前歯を損傷した。	○
198			高2	女	部活	11級 手指機能	柔道部活動中、校外体育館で試合に出場していた。相手に右払い腰で投げられたところ、相手の身体と自分の身体の間で左手が挟まり、負傷した。	○
199	平成16 (2004)	平成14 (2002)	高1	男	授業	聴力障害	保健体育の柔道の時間、本生徒は、他の生徒とふざけていて柔道着の帯でたたかれた。その時帯が右耳に当たりその後異常を感じた。	×
200			高2	男	授業	上肢切断・機能障害	柔道の授業で寝技戦をしていた時、体を支えるため、少しひねった状態で伸びきっていた本生徒の左手の上に、隣のペアの押し倒された生徒の体が乗ってしまい、左手が骨折した。	○
201			高1	男	その他 (柔道寒稽古)	下肢切断・機能障害	柔道場において、寒稽古(柔道)に参加し、乱取り稽古を教員と組んで行っていた。相手教員が投げようとしたところを本生徒が投げ返した際、教員が本生徒の左膝の上に倒れてしまい、その時、鈍い音と激痛が生じた。	○
202			中1	男	その他 (柔道大会)	精神・神経障害	柔道大会に出場中、対戦相手の大外がりの技を受け、耐えられず背中から落下し受身をとったが、後頭部を強打した。その後立ち上がり挨拶し、自席にもどり着席(座位)直後2回前のめり状態に崩れるようになった。	○
203			中1	男	部活	精神・神経障害	柔道部での投げ込み練習をしていた際、大外刈りの技をかけられ頭部を畳で強打した。	○
204			中1	男	部活	精神・神経障害	柔道部の活動中、打ち込みの練習をしていて相手に大外刈りで投げられたとき、受身がうまくとれず畳に後頭部を強打し、意識不明となった。	○
205			中2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動中、寝技をしていて、相手の足が顔面に当たり、前歯を強く打った。	○
206			中2	女	部活	精神・神経障害	柔道強化合宿中、相手の背負い投げが不完全であったため、左側頭部を強打した。	○
207			中3	男	部活	精神・神経障害	柔道部の練習中、寝技(乱取り)を行うため、四つん這いになった。相手の生徒が背中に乗り、足を決め、脇を差し、前につぶそうとしたところ、頭がひっきり、腹屈の状態になった。本人が、「あっ」と声をあげ、横にかえり仰向けになった。「ちょっとおかしい。」という本人の申し出に、相手が離れると、手足が動かないことを訴えた。	○
208			高1	男	部活	下肢切断・機能障害	柔道の試合中、相手がかけてきた技をうけた時、右膝を脱臼した。	○
209			高1	男	部活	精神・神経障害	柔道の合同練習で、試合形式の練習において、相手に裏投げされ、格技場の畳の上に後頭部から落下し、頭を強打した。	○
210			高2	男	部活	胸腹部臓器障害	柔道部活動の開始前に同じ部の生徒とレスリングごっこをして遊んでいた時、相手の右足で股間を蹴られた。	○
211	平成16 (2004)	平成15 (2003)	中1	男	授業	精神・神経障害	柔道の授業中、体育教諭がチーム編成のために、体重を聞いたとき、本生徒がわからないと答えたので教諭が持ち上げようとしたところ、腕を払われ胸倉をつかまれ、逆に身体を壁に押し付けられた。本生徒が反抗的な態度を取り、授業を拒否して帰ろうとしたため、畳の上に体落しをかけた際にケガをした。	○
212			高2	男	授業	精神・神経障害	保健体育の授業中、柔道の試合を行っていた。本生徒は相手に対し、強引に内股を仕掛けたが、不十分な体勢から投げを打ったため、相手が本生徒に乗りかかる形になり、前にのめり込むように頭から崩れた。	○
213			中1	男	部活	精神・神経障害	柔道部の活動で乱取り稽古中、相手の投げ技で本生徒は背中から落ちた。投げられた後、立って道場の端に行き、座ったところで気分が悪くなり、その場に横になった。	○
214			中3	男	部活	醜状障害	体育館で柔道部活動をしていた。本生徒は乱取りの中で他の生徒に1本背負いで投げられた際に、左手を畳についたため、腕を負傷した。	○
215			高1	男	部活	精神・神経障害	柔道部の練習で、乱取り中、本生徒は相手の内股に対する受身に失敗し、畳に頭部を強打した。	○
216	平成17 (2005)	平成16 (2004)	中2	男	授業	視力・眼球運動障害	体育の授業で柔道を行っていた、準備運動後の前回り受身をしていて、近くにいた他生徒の足が本生徒の左眼下に当たってしまった。	○
217			中2	男	授業	視力・眼球運動障害	体育の授業中、武道館で柔道の乱取りをしていて倒れた際、隣で同じく乱取りをしていた生徒のかかかたが、本生徒の顔面を踏みつけた状態になった。	○
218			高1	男	授業	上肢切断・機能障害	体育の授業中、柔道の練習で2人一組で寝技を行っていた際、相手からけさ固めの技で体勢をくずされた時に、体勢を立て直そうと右手で畳に手をやり、支え、相手の体重が右肘にかかり脱臼した状態となる。	○
219			中1	男	部活	胸腹部臓器障害	事故前日に、本生徒がけがをしたので救急箱を取りに行った際、友人のジャージを踏んでしまい汚してしまった。次の日、洗濯しても落ちなかったのを友人から責められたが、本生徒は何も答えなかった。その態度に友人は腹を立て、本生徒の頭や背中を殴った後、左脇腹を足で蹴り負傷させた。	×
220			中1	男	部活	精神・神経障害	柔道部練習中、3人の生徒と乱取りの稽古をする(ふだんと変わらない運動量である。)。その後、先輩の練習を立てて応援していたが、そのまま崩れるように倒れた。	不明
221			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部強化合宿練習試合中、大内刈りをされて相手の頭が低かったため、相手の頭が前歯に当たった。	○
222			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動中、相手が出した技に対して、投げられないように防御した際、相手の膝が歯に当たった。	○

223			高2	女	部活	精神・神経障害	柔道部活動遠征合宿中、他校との練習試合が終わった後、本生徒は部活の顧問に講評をもらいに行った際、試合内容が悪かったということで、顧問に左眼付近を拳で30回くらい殴られた。	体罰
224			高3	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、選手権大会の試合の際、払い腰をして相手は返し技を掛けながら、二人とも崩れるように倒れ、本生徒は前転姿勢で畳に頭と首を打ちつけた。	○
225			高3	男	部活	視力・眼球運動障害	柔道部の練習中、相手と組もうとした際、相手の指が左眼の上部に入り、その衝撃で眼球が下方に圧迫され、眼窩低を骨折した。	○
226	平成18 (2006)	平成17 (2005)	中1	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、大会決勝戦で、相手から小外刈りを掛けられ、その技を防ぐために、無理な体勢から払い腰を掛けた際に、投げられ頭から落ちて、首を捻る。	○
227			高1	女	部活	歯牙障害	柔道の練習試合中、うしろ襟をとりにいった際、相手選手の頭部と顔面がぶつかり、前歯を強打した。	○
228			高2	男	授業	上肢切断・機能障害	体育の授業で柔道の練習試合中、組み合せて技を掛けられそうになったため、ふんばったが、投げられて、手を着いてしまい痛めた。	○
229			高3	男	授業	精神・神経障害	体育授業中、柔道を行っていた際、準備体操、補強運動、受身が終わり、寝技を行っていたところ、相手に十字絞めで絞められ、一瞬、気絶した。	○
230			高3	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、投げ込みを行っていた際、本生徒は他の生徒(130キロ)を背負い投げをしようとした時、頭からマットに突っ込み、相手を巻き込むように技をかけたため、首が胸のほうに曲がった状態で、投げられた生徒が崩れるようになり、斜め後方から荷重がかかり、首を負傷した。	○
231			高3	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、大会に参加し、個人戦準決勝の際、相手を左一本背負いから、右手で相手の右足を制御し前に投げ込もうとした時、頭から畳に強く当たり、そのまま動けなくなる。意識ははっきりしているも、首から下が動かない状態であった。	○
232			高3	男	部活	下肢切断・機能障害	柔道部で体重別柔道選手権大会に出場し、試合中、払い腰をかけられ、相手の左足が本生徒の左足に当り、体重が総て本生徒の左足にかかった状態で共に倒れた際に負傷し、左ひざ複合靭帯断裂となった。	○
233	平成19 (2007)	平成18 (2006)	中1	女	部活	精神・神経障害	部活動中、柔道の乱取りの練習で受身のとき背中から倒れ、畳に後頭部をぶつけ倒れた。その後休憩していたところ前のめりになり倒れ意識を失った。	○
234			中2	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、実戦形式の練習を行っていた。本生徒が背負い投げをかけようとしたが、自滅してしまい頭をつき、衝撃が首にくる。	○
235			高1	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、背負い投げをかけられ、その技が速かったので、受身が間に合わず、頭から床に落ち、頭部を強打した。その日は練習を再開したものの、翌月に練習中、突然倒れる。	○
236			高1	男	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、練習で乱取りを行っていた際、投げられた時床で頭を打ち、気分が悪くなった。隅で座って休んでいたが、倒れた。	○
237			高1	男	部活	歯牙障害	柔道の試合中、相手選手に投げられそうになり、それを防ごうとして相手に乗りかかるような状態になった際、相手の後頭部が顔面に当たり、前歯を破折した。	○
238			高1	男	部活	胸腹部臓器障害	柔道部活動中、乱取をしていて、投げ技をかけられた際、相手の右足が股間にあたり、睾丸に強い痛みが生じた。	○
239			高1	男	部活	視力・眼球運動障害	柔道部の部活動練習中、コーチが実技指導していたが、本生徒の練習態度に覇気がなく力が入っていないと思ったことから、叱咤の気持ちで顔面を平手で殴打した。	体罰
240			高1	女	部活	精神・神経障害	柔道部活動中、合同合宿に参加し、乱取りの練習をしていた際、具合が悪くなり、休んでいたところ、意識が無くなり、けいれん等が起きた。	不明
241			高2	男	部活	歯牙障害	柔道部活動中、乱取稽古をしていた際、相手の手が口元に当たり、歯が折れた。	○
242			高3	男	部活	下肢切断・機能障害	柔道の試合中、相手選手の右払巻込みを受けた際、右膝が内側に折れた状態になり、そのまま巻き込まれ膝から下がねじれ負傷した。	○
243			高3	女	部活	聴力障害	柔道部で投げ技の練習中、大外刈りで投げられた際、受身を取ったが背中から落ち、後頭部を畳に打って転倒した。	○
244			高3	男	授業	上肢切断・機能障害	柔道の授業で試合中、相手に払腰をかけられたが、投げられまいとして同体で倒れ頭部より落ちて頭を痛めた。	○
245	平成20 (2008)	平成19 (2007)	中1	男	部活	精神・神経障害	乱取りをしていたところ、技をかけられて倒れた際に右後頭部を打ち、休憩を挟んで同様に左側頭部を打った。その後気分が悪くなり嘔吐した。	○
246			中1	男	部活	精神・神経障害	約束練習という、投げる・投げられる練習をしていた。投げられた際に頭を打った。しばらく休ませていたが、「気分が悪い」と訴えた。	○
247			中1	男	授業	精神・神経障害	受身の練習で倒立前転をしようとしたところバランスを崩し、頭部から畳上に崩れ落ちた。	○
248			高1	男	部活	歯牙障害	相手に投げられた際に、受身がうまく出来ず、顔面を強打し負傷した。	○
249			高2	男	部活	視力・眼球運動	試合中、倒れこんだ際に、相手の肩が右眼周辺に当たり、そのまま押さえ込まれた。	○

250			高2	男	その他 (競技大会)	胸腹部臓器障害	団体戦で試合に出場し、相手選手と一緒に倒れこんで寝技の攻防となり、本生徒が相手を引き寄せたところ、相手が上に倒れこんできて、その際に相手の膝が股間に当たった。	○
251	平成21 (2009)	平成20 (2008)	中1	男	授業	精神・神経障害	柔道場で、準備運動のあと、前まわり受身の後「頭が痛い」と言って頭をおさえている姿を他の生徒が見ていた。続いて、前まわり受身のテストがあったが本生徒は普段どおりテストを受けた。テスト終了後、整列したときに嘔吐した。体育担当教諭に頭痛を訴え、歩いて保健室へ行った。	○
252			中3	男	授業	外貌・露出部分の醜状 障害	授業終了時の着替え中、柔道場で友人とふざけていて、柔道着の帯を飛ばそうとして足が引っかかり、右腕が身体の下敷きになった状態で後方に転倒した。	○
253			中3	女	授業	上肢切断・機能障害	柔道の足技「はらい」を二人組で学習していて、相手の生徒に足をはらわれた時に転倒し、右手首を畳に打ち負傷した。	○
254			中1	男	部活	せき柱障害	試合中、本生徒は相手から払い腰で投げられた際、相手生徒の腰が頭に乘ってしまい、頸椎を負傷した。	○
255			高1	男	授業	上肢切断・機能障害	相手に巴投げをされ受身に失敗し、左腕に体重が乗ってしまい負傷した。	○
256			高1	男	授業	聴力障害	受身の練習をしていて、投げられた際にバランスを崩してうつぶせ状態で畳の上に落ち、胸と左耳を強打して耳の痛みと耳鳴りが生じた。	○
257			高3	男	授業	上肢切断・機能障害	技をかけられ転倒しそうになったとき、思わず左手をついてしまった。	○
258			高3	男	授業	精神・神経障害	柔道の「投げの形」の試験中、肩車という技で本生徒が肩に担がれ畳に頭から顔くような格好で落下し、首を負傷した。	○
259			高1	男	部活	視力・眼球運動障害	柔道で寝技の乱取りをしていた時、相手の足が左眼に当たった。	○
260			高1	男	部活	手指切断・機能障害	相手の襟をつかもうと右手を出した際、相手がそれを勢よく振り払ったため、右手薬指を負傷した。	○
261			高2	男	部活	視力・眼球運動障害	着替えの際、他の生徒がふざけて本生徒の背後から二つ折りにした柔道の帯ではいたところ、右目に当たり、負傷した。	○
262	平成22 (2010)	平成21 (2009)	中2	男	部活	上肢切断・機能障害	武道館での、練習試合で3年生に投げられ、左肩を強く打ち骨折した。	○
263			中2	男	部活	外貌・露出部分の醜状 障害	柔道場で乱取りをしていたところ、相手が体落としの技をかけた瞬間、右足大腿部に激痛を感じて、右大腿部を骨折した。	○
264			中2	男	部活	視力・眼球運動障害	寝技の練習の際、相手に仰向けの状態で上に乗られ、帯の部分で左眼を圧迫され負傷した。	○
265			高1	男	授業	上肢切断・機能障害	柔道で乱取りをしていた。相手生徒に投げられて受身を取ろうとした際、左腕を床についたため、左肘関節に体重をかけた姿勢となった。左肘に疼痛がある為、整形外科を受診した。	○
266			高2	男	授業	精神・神経障害	柔道の授業中、体育科教諭から説明を受けたあと、二人一組で練習をしていた。本生徒は相手の生徒から背負い投げの技をかけられたとき、頭から畳に落ちてしまったので、首を捻って負傷した。	○
267			高2	男	授業	上肢切断・機能障害	体育の柔道時間中に、本生徒は、背負い投げをされそうになったが、相手が投げるのに十分な体勢が取れておらず上体が崩れた。その際、背中から滑り落ちるように畳に落ちた。右腕を最初についてしまい、肘に衝撃を受けて負傷した。	○
268			高2	男	授業	胸腹部臓器障害	柔道の授業のまとめとして試合を行っていた。相手が大内がりをかけられ、後方に転倒した。その際、相手の右膝が本生徒の左下腹部に突き上げるように入った。	○
269			高2	男	授業	上肢切断・機能障害	授業で柔道を行っていた。寝技を掛けられた際、左腕を捻じった状態で相手生徒の体で押さえ付けられ、体重が一気にかかり負傷した。	○
270			高1	男	部活	精神・神経障害	約束練習で背負い投げで投げられた際、頭部を畳に強打した。気持ちが悪いので、休みますと言って座り、そのうち右足の痙攣が起き、意識不明となって、直ちに救急車で病院に運ばれた。	○
271			高1	男	部活	上肢切断・機能障害	部員として練習会に参加中、他校の生徒と試合をしていて技をかけられ左後方に倒れ左肘が畳についた。その際に自分の体重と相手選手の全体重とが左上腕にかかり負傷した。	○
272			高1	男	部活	精神・神経障害	柔道の形講習会において、体操の後、受け身の見本を少し行ったときに体調不良があり見学していたところ、約30分後、見学中に倒れて意識不明となった。	○
273			高1	男	部活	歯牙障害	乱取りをしていて技をかけられた際に、相手生徒の頭部に前歯を強打した。	○
274			高1	男	部活	精神・神経障害	予選大会に行き、試合前のアップの時間に打ち込みと投げ込みの調整をした。背負い投げと大外刈りそれぞれ一本受けて、二本目に払い腰の受け身を取った。二本とも受け身を取って立ちあがった際、倒れた。容態を確認すると、意識不明で痙攣し、口から泡を吹合宿練習のため、他高校に遠征。立ち技乱取中、相手に「大内刈り」を掛けられ、背中と後頭部を強打した。すぐに立ち上がったが、その後次第に意識不明の状態になった。	○
275			高専2	女	部活	精神・神経障害		○